

# 名古屋大学

## 国際言語文化研究科

### 全学向け授業案内

#### 「外国語特別研修コース」について

国際言語文化研究科全学向け授業は「外国語特別研修コース」からなっています。  
「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業です。  
皆さんの積極的な受講を期待しています。

2009年度後期



下記のとおり、2009年度後期全学向け授業「特別英語セミナー」において、授業担当教員の変更がありますので、よろしくお願いたします。

記

授業担当教員の変更：

1.

授業科目名		特別英語セミナー (Writing) b
記号		A
曜日・時限		火曜3限
教室		S17
授業担当教員	変更前	STAVOY JOSEPH A.
	変更後	W. M. Jones

2.

授業科目名		特別英語セミナー (Reading) b
記号		I
曜日・時限		金曜2限
教室		S17
授業担当教員	変更前	STAVOY JOSEPH A.
	変更後	S. J. Humphrey

## 「国際言語文化研究科全学向け授業案内」担当教員変更後のシラバス

授業科目名： 特別英語セミナー (Writing) b  
記 号： A  
曜日時限： 後期火曜 3時限  
教 室： S 1 7  
担当教員： W. M. Jones

### 【本授業の目的およびねらい】

Students will become proficient in non-fiction writing through examination and practice of various writing strategies. Peer review of other students' writing as well as Instructor-provided samples will help students examine individual strengths and areas for improvement.

### 【授業内容】

Review of paragraph reading and writing skills to ensure an efficient Transition to writing essays. Knowledge and skills previously learned will be applied to make a complete essay. Students will write essays both of a class-specific assigned topic, as well as self-selected topics of interest.

These self-selected written assignments will be used in the class by other students as reading assignments. Advanced topics such as Critical and Logical Thinking, Proofreading Techniques, Brainstorming, Reference Material Usage as it affects writing with E-J/J-E dictionaries and thesaurus, etc. will be learned.

These topics will then be applied to create coherent and easy-to-understand essays.

As writing is a time-intensive activity, homework will be required.

### 【成績評価方法】

In-class and assigned writing assignments.  
Announced and unannounced quizzes and tests.

### 【参考書】

E-J/J-E dictionary required.

## 「国際言語文化研究科全学向け授業案内」担当教員変更後のシラバス

授業科目名： 特別英語セミナー (Reading) b  
記 号： I  
曜日時限： 後期金曜 2 時限  
教 室： S 1 7  
担当教員： S. J. Humphrey

### 【本講義の目的およびねらい】

This course aims to introduce the culture of two English speaking countries: United Kingdom and New Zealand. Students will be encouraged to make a comparison of the two countries through regular discussions and a presentation at the end of the semester.

### 【履修条件・関連する項目等】

Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.

### 【授業内容】

Class discussions will be based on information collected as part of students' homework from the Internet, and materials provided by the teacher. Each class will include a short lecture.

### 【成績評価方法】

Attendance, Participation, Presentations, and Report.

〈学部学生の皆さんへ〉

「全学向け授業」として登録する場合は、本冊子に従って手続をしてください。全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する場合は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」に従って教養教育院事務室にて手続をしてください。

I. 授業科目（授業時間割表及び授業要覧は8ページ以降に掲載）

外国語特別研修コース

科 目		開講期間	科 目		開講期間
		後期			後期
英 語	特別英語セミナー（Writing） a	—	ド イ ツ 語	Level 1 a	—
	特別英語セミナー（Writing） b	○	フ ラ ン ス 語	Level 1 b	○
	特別英語セミナー（Presentation） a	—	ロ シ ア 語	Level 2 a	—
	特別英語セミナー（Presentation） b	○	中 国 語	Level 2 b	○
	特別英語セミナー（Reading） a	—	ス ペ イ ン 語	Level 1 a	—
	特別英語セミナー（Reading） b	○	朝 鮮 ・ 韓 国 語	Level 1 b	—
	特別英語セミナー（Certificate Tests） a	—	ポ ル ト ガ ル 語	Level 1 a	—
	特別英語セミナー（Certificate Tests） b	○	ラ テ ン 語	Level 1 b	○
	特別英語セミナー（Specific Purposes） a	本年度は開講しない	古 典 ギ リ シ ア 語	Level 1	—
	特別英語セミナー（Specific Purposes） b	本年度は開講しない	イ タ リ ア 語	Level 1	○

注）Level 1, 2 は、この順で授業内容が高度になります。

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

後期：2009年10月1日(木)～2010年1月27日(水)

2. 休業日

冬季休業期間：2009年12月28日(月)～2010年1月7日(木)

3. 休講日

大学入試センター試験実施準備：2010年1月15日(金)（予定）

4. 定期試験期間

後期：2010年1月28日(木)～2月10日(水)

5. 授業時間帯

第1時限 8：45～10：15

第2時限 10：30～12：00

第3時限 13：00～14：30

第4時限 14：45～16：15

第5時限 16：30～18：00

III. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生は受講できません。

IV. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関することは、全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板（5ページ配置図参照）で通知します。

## V. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部部长あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

## VI. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出して下さい。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

## VII. 受講申込み手続き

### 1. 外国語特別研修コース

#### 特別英語セミナー

受講手続きは、次のとおりです。

1. 受講申込カード（黄色の4連カード）配付場所及び申込場所  
文系総合館1階 文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（6ページ配置図参照）
2. 申込期間及び時間 期 間：2009年9月17日（木）、18日（金）、24日（木）  
時 間：9:00～17:00

\* 英語受講申込カードは、この期間以外には配付しません。また、受講申込は、申込期間以降は受け付けませんので注意してください。

### 3. 受講申込カード記入・提出について

受講希望者は、「受講申込カード」に必要事項を記入のうえ、申込期間中に文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口へ提出してください。特に以下の①・②については、注意事項をよく読んで記入してください。提出の際には、本人保存用及び教員保存用の紙片を返却しますので、教員保存用の紙片は第1回目の授業時に授業担当教員に渡してください。また、本人保存用の紙片に記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、結果の確認には必ずその紙片を持参してください。なお、受講する授業が決定した後も、本人保存用紙片は保管しておいてください。

#### ①『TOEIC等点数』：

「特別英語セミナー」の受講を希望する人は全て、TOEIC公開試験等の英語検定試験によって得た自分の英語力の点数を受講申請の際に記入せねばなりません。TOEIC等の受験は各自で行ってください。

TOEIC等の英語検定試験によって知り得た自分の点数を確認して申請してください。なお、申請時に下記基準を満たしていることを証明する得点証明書（有効期限は2年間）を持参してください。得点証明書は原本を提出してください。確認・複写後、返却します。下記基準を満たしていない場合は、受付できません。

名 称	申 請 基 準
TOEFL-ITP	527以上
TOEFL-PBT	527以上
TOEFL-CBT	197以上
TOEFL-iBT	71以上
TOEIC	663以上

※いずれの検定試験も正規の公開試験の結果のみを基準とする（TOEFL-ITPを除く）。

#### ②『希望するクラス』

受講したいクラスを1つ記入してください。

#### 4. 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します（決定後の問い合わせには応じません）。受講調整の結果は、9月29日(火)9時までに全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板（5ページ配置図参照）に掲示します。

定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

5. 第1回目の授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系教務課（国際言語文化研究科）は対応しません。
6. 決定された授業からの辞退は認められません。
7. 外国語特別研修コースの「特別英語セミナー」は、授業の種類にかかわらず、一期に一クラスしか受講できません。

#### 英語以外の外国語

全学向け授業としては、第2週〔10月8日(木)～14日(水)〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

##### 1) 受講申込カード配付場所

文系総合館1階 文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（6ページ配置図参照）

##### 2) 配付期間及び時間

期 間：2009年10月1日(木)～14日(水)

時 間：平日 9：00～17：00

##### 3) 配付カード

青色（3連）

##### 4) 受講登録手続

第1回目の授業時〔10月8日(木)～14日(水)〕に受講が許可された授業科目について、「受講申込カード」のうち教員保存用の紙片を授業担当教員に渡し、事務室保存用の紙片を文系教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください（締切厳守）。

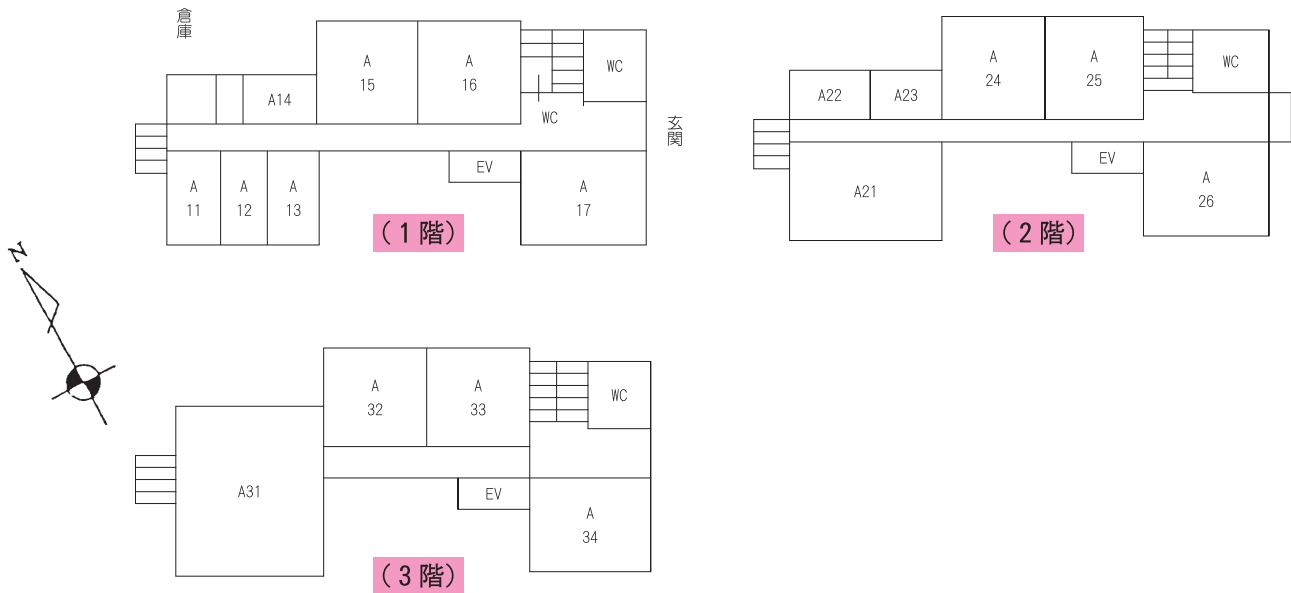
受講登録期間及び時間

期 間：2009年10月8日(木)～10月15日(木)

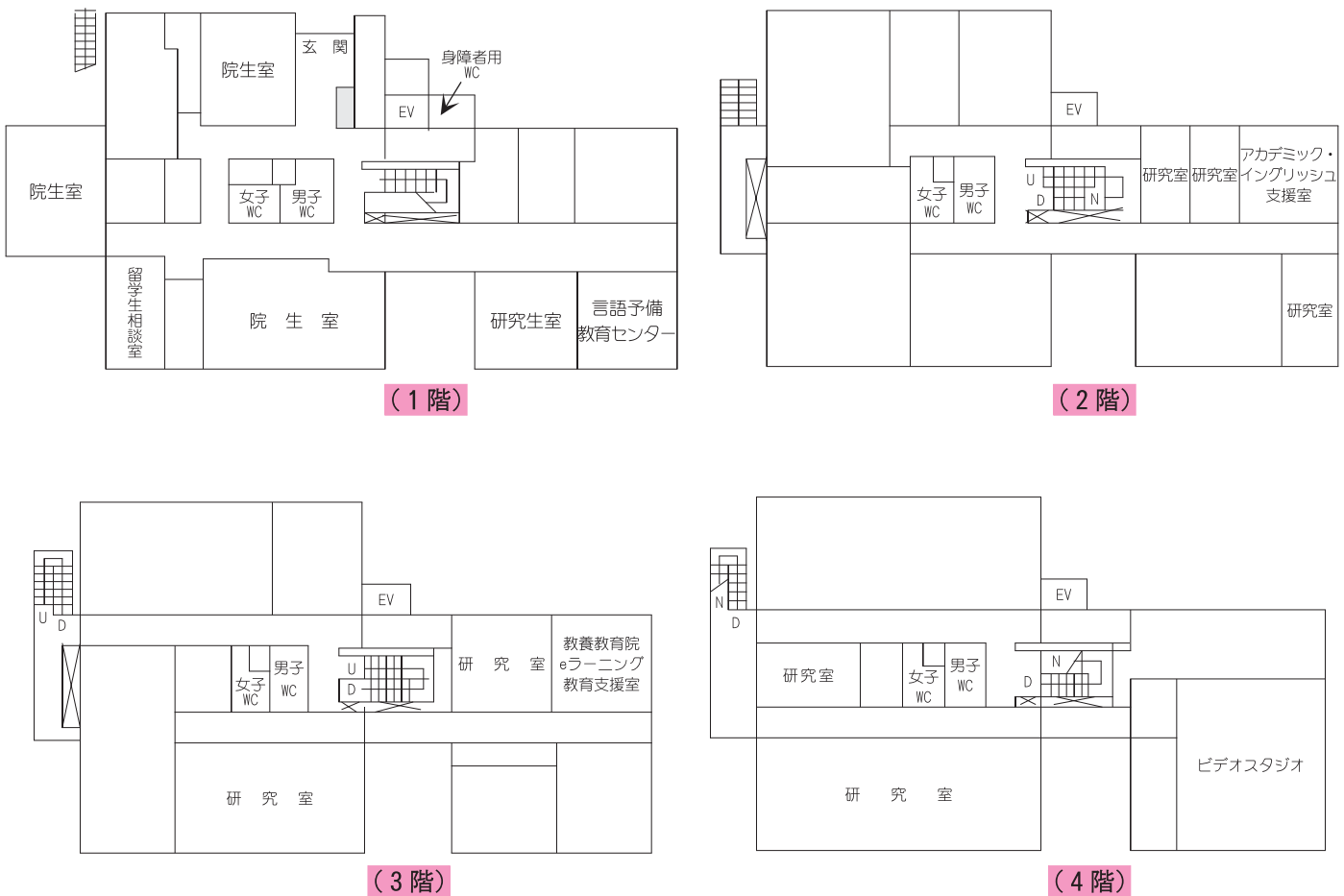
時 間：平日 9：00～17：00

# 全学教育棟・国際言語文化研究科棟及び文系総合館教室等配置図

## 《全学教育棟 A館》

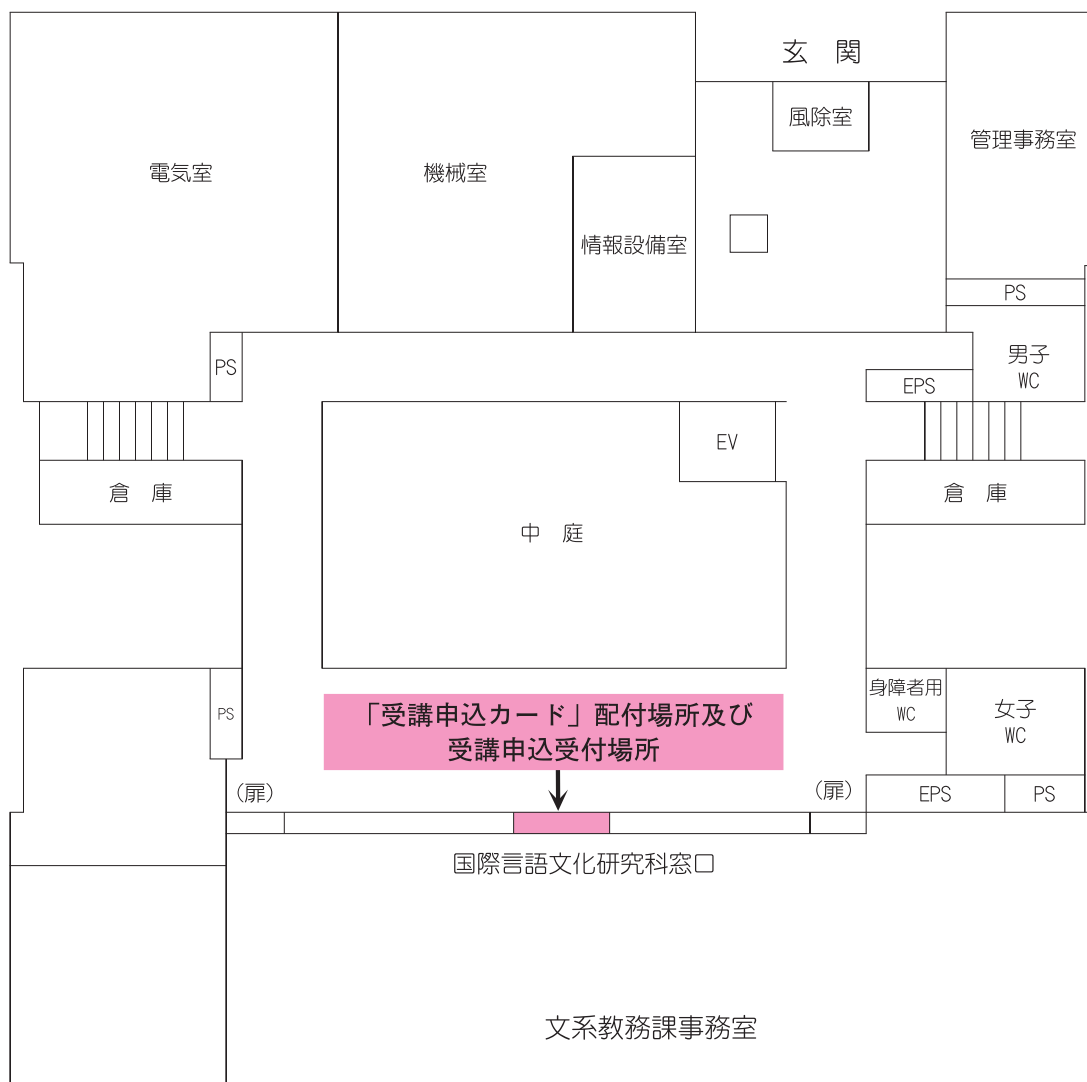


## 《国際言語文化研究科棟》





文系総合館 1F



(1階)



## 2009年度後期・授業時間割表

「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	特別英語セミナー (Writing) b	A	STAVOY JOSEPH A.	火 (3)	S17	20	
	特別英語セミナー (Writing) b	B	LONGCOPE PETER D.	水 (3)	S17	20	
	特別英語セミナー (Writing) b	C	LONGCOPE PETER D.	木 (2)	A26	20	
	特別英語セミナー (Presentation) b	D	POTTER SIMON R.	月 (4)	CALL2	20	
	特別英語セミナー (Presentation) b	E	POTTER SIMON R.	水 (2)	CALL2	20	
	特別英語セミナー (Presentation) b	F	LONGCOPE PETER D.	木 (5)	C36	20	
	特別英語セミナー (Reading) b	G	MORITA CHUA LIANG	火 (2)	C31	20	
	特別英語セミナー (Reading) b	H	MORITA CHUA LIANG	水 (4)	S14	20	
	特別英語セミナー (Reading) b	I	STAVOY JOSEPH A.	金 (2)	S17	20	
	特別英語セミナー (Certificate Tests) b	J	岩 城 奈 巳	火 (2)	CALL1	20	
	特別英語セミナー (Certificate Tests) b	K	松 原 緑	火 (2)	サブラボB	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		高 畑 祐 人	火 (1)	S15	20	前期(林)から継続
	ドイツ語 Level 2b		M. Koch	金 (3)	S14	20	前期から継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1b		鶴 卷 泉 子	月 (5)	CALL4	20	前期から継続
	フランス語 Level 2b		DELBARRE FRANCK	月 (5)	C42	20	前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b		SAVELIEV IGOR	火 (3)	S19	20	前期から継続
	ロシア語 Level 2b		山崎 タチアナ	金 (3)	A13	20	前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b		加 納 光	水 (2)	C11	20	前期から継続
	中国語 Level 2b		前 田 光 子	月 (3)	C11	20	前期から継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b		A. Villalobos	水 (4)	S15	20	
	スペイン語 Level 2b		西 村 秀 人	木 (4)	S18	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		金 元 榮	金 (3)	S12	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		崔 昇 浩	金 (4)	S19	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		鄭 芝 淑	木 (5)	文総609	20	前期から継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1b		有 川 貫太郎	木 (4)	CALL2	20	前期から継続
古 典 ギ リ シ ア 語	古典ギリシア語 Level 1b		有 川 貫太郎	水 (4)	CALL2	20	前期から継続
ア イ ヌ 語	アイヌ語 Level 1		小 坂 光 一	月 (2)	CALL2	20	
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1a		A. Sciuca	水 (4)	S13	20	前期から継続

注) 講義室の表示について

- 「C11」(Cで始まるもの), 「CALL 1」(CALL教室): 全学教育棟本館
- 「A13」(Aで始まるもの): 全学教育棟A館
- 「文総609」: 文系総合館6階
- 「サブラボB」: 全学教育棟本館2階
- 「S19」(Sで始まるもの): 全学教育棟本館南棟

## 〈外国語特別研修コース〉

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
特別英語 セミナー (Writing) b	STAVOY JOSEPH A.	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The teacher will provide handouts for each class. The students will be asked to submit a short writing assignment each week after working on process writing and various exercises in class. Some example lessons are: paragraph development, letter writing, biographies, narratives, critical reviews, etc. Student editing and student correction also play a part in this class, though the majority of the assignments will be done outside the classroom.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 The topics below are tentative and are subject to change. Topic Sentences Writing about daily activities The writing process: General Topics Comparison and Contrast Narration Writing a Biography: Research A Fable/Writing about a Japanese Fairy Tale/Fable Customs and Traditions Describing Things Describing people High School Days</p> <p>成績評価方法 Students will be assessed and graded based on participation, attendance, completion of homework and examinations.</p>
特別英語 セミナー (Writing) b	LONGCOPE PETER D.	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい As this is an advanced class on writing, the aim of the class will be in helping students learn to write well-supported and well-developed papers on academic subjects.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 The students in this class will work on writing academic papers. The instruction and in-class activities will focus on aiding students in understanding what such papers are expected to look like and how to accomplish that. Issues that will be touched on in class will include but will not be limited to, paper organization, providing factual support, including references, and proper formatting for references.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based on class participation, scores of in-class tests and exams, and the quality and timeliness of homework assignments.</p>
特別英語 セミナー (Writing) b	LONGCOPE PETER D.	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい As this is an advanced class on writing, the aim of the class will be in helping students learn to write well-supported and well-developed papers on academic subjects.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 The students in this class will work on writing academic papers. The instruction and in-class activities will focus on aiding students in understanding what such papers are expected to look like and how to accomplish that. Issues that will be touched on in class will include but will not be limited to, paper organization, providing factual support, including references, and proper formatting for references.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based on class participation, scores of in-class tests and exams, and the quality and timeliness of homework assignments.</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
特別英語 セミナー (Presentation) b	POTTER SIMON R.	月(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this course is to give students some insights into and experience in making educational and / or scholarly presentations.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 This course will emphasize oral presentations of an academic nature and will hopefully be of use to aspiring teachers and / or scholars. Students will be required to select their own themes and to use them for mock classes and scholarly presentations. Among the tools and teaching / presentation aids will be such things as chalk and blackboard and / or thick felt pens and whiteboard depending on the classroom assigned to the course, paper and other handouts, and PowerPoint, while the teaching / presenting student will need to be actively involved in each project (e.g. a student cannot simply show part of a movie and ask one or two questions about it). The number of presentations each student will give will depend on the number of students in the course and the circumstances as they develop throughout the term.</p> <p>成績評価方法 Presentations 50%, attendance 50%. The reason for attendance counting so much is to ensure that there will be an audience for whoever is doing the presenting!</p> <p>注意事項 Come with ideas for what you would like to present, and be prepared to be flexible. There are no predetermined themes, so the success of the course will depend on what the students as a whole do.</p> <p>受講者へのメッセージ It's a high-tech world, and teachers and scholars seem to love using a variety of computer-based programs and gadgets, so please be prepared to try at least one PowerPoint presentation. At the time of submitting the syllabus for this course, the teacher had requested a classroom in which the appropriate machinery would be accessible. In the event that this request cannot be accommodated, please be prepared to bring your own computer (or one which can be borrowed through a department or something like that).</p>
特別英語 セミナー (Presentation) b	POTTER SIMON R.	水(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this course is to give students some insights into and experience in making educational and / or scholarly presentations.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 This course will emphasize oral presentations of an academic nature and will hopefully be of use to aspiring teachers and / or scholars. Students will be required to select their own themes and to use them for mock classes and scholarly presentations. Among the tools and teaching / presentation aids will be such things as chalk and blackboard and / or thick felt pens and whiteboard depending on the classroom assigned to the course, paper and other handouts, and PowerPoint, while the teaching / presentation student will need to be actively involved in each project (e.g. a student cannot simply show part of a movie and ask one or two questions about it). The number of presentations each student will give will depend on the number of students in the course and the circumstances as they develop throughout the term.</p> <p>成績評価方法 Presentations 50%, attendance 50%. The reason for attendance counting so much is to ensure that there will be an audience for whoever is doing the presenting!</p> <p>注意事項 Come with ideas for what you would like to present, and be prepared to be flexible. There are no predetermined themes, so the success of the course will depend on what the students do as a whole.</p> <p>受講者へのメッセージ It's a high-tech world, and teachers and scholars seem to love using a variety of computer-based programs and gadgets, so please be prepared to try at least one PowerPoint presentation. At the time of submitting the syllabus for this course, the teacher had requested</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
特別英語 セミナー (Presentation) b	POTTER SIMON R.	水(2)	20	a classroom in which the appropriate machinery would be accessible. In the event that this request cannot be accommodated, please be prepared to bring your own computer (or one which can be borrowed through a department or something like that).
特別英語 セミナー (Presentation) b	LONGCOPE PETER D.	木(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい As this is an advanced class on presentations, the aim of this class is to aid students in understanding what is expected in an academic presentation and how to attain that.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 In this course, students will work on preparing and giving a 20-minute academic presentation. The topic of all presentations will be selected by the students. The instruction in the course will revolve around aiding students in understanding the make-up of a successful academic presentation. Topics that will be dealt with in class will include but will not be limited to organization, relevant transitional signals, visual aids, and proper presentation style.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based on class participation, scores of in-class tests and exams, and the quality and timeliness of homework assignments.</p>
特別英語 セミナー (Reading) b	MORITA CHUA LIANG	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their reading skills.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 A variety of texts including news articles, articles on the internet and novels will be used in this class. We will discuss four types of reading skills: skimming, scanning, extensive reading and intensive reading.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Skimming is used to understand the gist or main idea.</li> <li>2. Scanning is used to find a particular piece of information.</li> <li>3. Extensive reading is used for pleasure and general understanding.</li> <li>4. Intensive reading is used for accurate reading for detailed understanding.</li> </ol> <p>成績評価方法 50% participation, 50% examination.</p>
特別英語 セミナー (Reading) b	MORITA CHUA LIANG	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this class is to help students develop their reading skills.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course.</p> <p>授業内容 A variety of texts including news articles, articles on the internet and novels will be used in this class. We will discuss four types of reading skills: skimming, scanning, extensive reading and intensive reading.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Skimming is used to understand the gist or main idea.</li> <li>2. Scanning is used to find a particular piece of information.</li> <li>3. Extensive reading is used for pleasure and general understanding.</li> <li>4. Intensive reading is used for accurate reading for detailed understanding.</li> </ol> <p>成績評価方法 50% participation, 50% examination.</p>
特別英語 セミナー (Reading) b	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course will focus on improving students' reading and vocabulary-building skills. There will be previewing and predicting exercises preceding each reading as well as skimming and scanning exercises during the reading assignments. Students will perform a variety of exercises to check comprehension, make inferences, distinguish fact from opinion and</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
特別英語 セミナー (Presentation) b	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	20	to understand the organization and cohesion of each reading. <b>履修条件・関連する科目等</b> Please make sure that you have fulfilled the university's requirements for registering for this course. <b>授業内容</b> The topics below are tentative and are subject to change. Music Money Jobs Coincidence Health and leisure Friends Animals Relationships Success Family Ghost Stories Fables <b>成績評価方法</b> Students will be assessed and graded based on participation, attendance, completion of homework and examinations.
特別英語 セミナー (Certificate Tests) b	岩 城 奈 巳	火(2)	20	<b>本講義の目的およびねらい</b> 本授業は、主に留学を目指す学生を対象に、TOEFL受験の準備を行う。 <b>履修条件・関連する科目等</b> 英語に対する意欲。TOEFL-iBTで71点、(CBT:197、PBT/ITP:530) TOEIC:672点、英検準1級以上が望ましい。 <b>授業内容</b> TOEFLに関する与えられた課題(リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング)について、取り組む。授業では、グループワーク、ペアワークを主に行い、クラスの仲間と協力し、共に学ぶスタイルを行う。課題は毎回提出する。 <b>成績評価方法</b> 出席、授業態度を重視する。毎回の簡単なテスト、グループワーク、提出物と試験結果をあわせた総合評価をおこなう。 <b>教科書</b> 随時プリント配布またはウェブを使用する。 <b>参考書</b> 随時紹介する。 <b>注意事項</b> 遅刻厳禁。欠席3回で単位放棄とみなす。 <b>受講者へのメッセージ</b> この授業は留学を目指す学生が主に対象になります。個々の目標に向かってがんばって取り組んで下さい。また、一人で机にむかって黙々と与えられた課題に取り組むことは自分の時間に出来るので、このクラスではクラスメートと情報交換をしたり、勉強法を学びあったりしながら本試験の準備に取り組んでいきます。
特別英語 セミナー (Certificate Tests) b	松 原 緑	火(2)	20	<b>本講義の目的およびねらい</b> TOEICで更なる得点アップを図るためのポキャブラリー強化と、TOEICテスト形式に慣れ、正答を導き出すコツをつかむことを目的としたTOEIC対策講座。 <b>履修条件・関連する科目等</b> TOEIC 672点以上, TOEFL-ITP 530, TOEFL-CBT 197, TOEFL-iBT 71点以上 <b>授業内容</b> 毎回指定された範囲の単語テストとTOEIC形式のミニテストを実施する。その後、解答・解説を行ういわゆるテストゼミ形式で授業を進める。前期に行った授業と形態は同じだが、内容は異なる。 <b>成績評価方法</b> 授業参加度・単語チェックテスト・期末テスト <b>教科書</b> 毎回プリントを配布する。 <b>参考書</b> TOEIC TEST 究極単語 Advanced 2700 目指せ!スコア7500突破 藤井哲郎, 宮野智靖(著) 出版社: 語研 ※ 第1回目の授業までに生協にて購入しておくこと。 <b>注意事項</b> 欠席4回で受講放棄とみなす。
ドイツ語 Level 1b	高 畑 祐 人	火(1)	20	<b>本講義の目的およびねらい</b> ドイツ語をはじめて学ぶ学生を対象に、一貫した授業計画に基づいてドイツ語に関する基礎知識と運用力を養成する科目です。「聞く」「話す」「読む」

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ドイツ語 Level 1b	高畑 祐人	火(1)	20	<p>「書く」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指します。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> 前期の林先生の授業を受けついで行います。授業は口頭練習を中心に行なわれますので、毎回出席することが履修の条件になります。</p> <p><b>授業内容</b> 1－2. Nagisa hat keinen Bruder. 3－4. Wie spaet ist es jetzt? 5－6. Wir haette gern ein Handy. 7－8. Ich haette gern ein Handy. 9－10. Ich schenke meinem Vater eine CD. 11－12. Ich war gestern zu Hause. 13－14. Waschen, schneiden, foenen, bitte! 15. 試験</p> <p><b>成績評価方法</b> 平常点・試験を総合して判断します。 <b>教科書</b> Wie bitte? とにかく話そうドイツ語 (郁文堂) <b>注意事項</b> 積極的な参加を望みます。</p>
ドイツ語 Level 2b	M. Koch	金(3)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> この授業では、すでに習得したドイツ語の知識を用いて、日常的なドイツ語をさらに実践的に学習します。あわせて、ドイツ事情について学びます。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> ドイツ語初級能力を持っている学生のための授業です。</p> <p><b>授業内容</b> 自分の日常生活をドイツ語で表現できるようになることを目指します。後期で学習する場面は、以下のとおりです。 (1) 食事 (2) 市場で (3) 家族 (4) 一日の予定 (5) 一週間の予定</p> <p><b>成績評価方法</b> 平常点70%、期末試験30% <b>教科書</b> 「aktiv. de」アクティブに使うドイツ語；三修社 <b>参考書</b> 独和辞典および和独辞典 <b>注意事項</b> 学生と教師間の会話だけでなく、隣の人とペアを組んで対話をしながら表現を覚え、また文法規則を応用できるような授業を目指します。学生の積極的な授業への参加が求められます。家での復習が重要となります。CDやDVDも用います。</p>
フランス語 Level 1b	鶴巻 泉子	月(5)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。前期に開講されるフランス語 Level 1aを引き継ぐ。前期も履修することが望ましい。</p> <p><b>授業内容</b> 前期の松浦先生の授業を受け、後期には動詞の様々な使い方を主な柱として学んでゆく。動詞の時制・法は単に過去や未来の違いに関わるのではなく、文章の細かなニュアンスやフランス語の発想の独特性とも複雑に絡んでいる。それを少しずつ感じ取るための基礎固めを進めたい。次の大きなテーマに沿って授業を進める。 1) 直説法複合過去 2) 単純未来、比較級、最上級 3) 代名動詞 4) 直説法半過去、複合過去、大過去 5) 代名詞 en、y、所有代名詞、指示代名詞、関係代名詞 6) 強調構文とジェロンディフ 7) 条件法、接続法、直接・間接疑問文</p> <p><b>成績評価方法</b> 平常点 (授業への積極的な参加・小テストなど) 30%、定期試験70% <b>教科書</b> 「新 CD フランス語文法」 大木充他著 朝日出版社</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
フランス語 Level 2b	DELBARRE FRANCK	月(5)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> この授業はフランス語の日常会話でよく使われる表現と語彙を身につけることと自発的な発言にたどりつくことを目指しています。初級レベルであまり触れない接続法、条件法といった様々な言語項目の使い分けの習得も目指しています。</p> <p><b>授業内容</b> この授業はコミュニケーション能力を上達させる様々な活動に基づいています。聞き取りと会話が中心で、日常生活に役立つ簡単な文章の執筆も練習します。どのコミュニケーション活動も日常生活と日常会話のコミュニケーションの場面に基づいています。必要に応じて、教科書以外の教材を使用することもあります。</p> <p><b>成績評価方法</b> 小テスト：40%、最終試験：40%、コミュニケーション評価（口頭）：20%</p> <p>出席率により、10点までのボーナスも合計に加わります。</p> <p><b>教科書</b> なし。必要に応じてプリントを配ります。</p> <p><b>注意事項</b> 授業中ではなるべく辞典の使用を避けるようにするので、毎回の授業の語彙や表現などを身につける必要があります。</p>
ロシア語 Level 1b	SAVELIEV IGOR	火(3)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講義も行う。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景の知識を学習することによりロシア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「ロシア語に触れる」である。</p> <p><b>授業内容</b> ロシア語の基礎を学ぶための科目で基礎文法の学習を主眼とする。さらにそれに加えて、ロシアの文化・現実も覗いてみたい。</p> <p>授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字と発音（1）</li> <li>2. アクセントと基本的な平叙文と疑問文（1）</li> <li>3. 文字と発音（2）、基本的な平叙文と疑問文（2）</li> <li>4. 名詞の性</li> <li>5. 文字と発音（3）、動詞の現在人称変化（1）</li> <li>6. 子音の同化、アルファベット</li> <li>7. 名詞の複数形と正書法の規則</li> <li>8. 所有代名詞と疑問代名詞</li> <li>9. 名詞の格と指示代名詞</li> <li>10. 形容詞の性・数の変化</li> <li>11. 動詞の現在人称変化（2）</li> <li>12. 前置格と前置詞</li> <li>13. 動詞の過去形、生格</li> <li>14. 所有の表現とその否定</li> <li>15. 対格、活動体と不活動体</li> </ol> <p><b>成績評価方法</b> 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。</p> <p><b>教科書</b> 佐々木照央「速修ロシア語」（白水社）。</p> <p><b>参考書</b> 露和辞典は、「研究社露和辞典」、「博友社露和辞典」、「岩波露和辞典」のうちから一冊を購入すること。</p> <p><b>注意事項</b> 音読と辞書引きは不可欠。</p> <p><b>受講者へのメッセージ</b> 発音の練習について 繰り返し、声に出して単語や単文の発音を練習することが一番良い方法です。発音がきれいになったという実感を自分で持つことができれば、その後の勉強が必ず楽しくなります。</p>
ロシア語 Level 2a	山崎 タチアナ	金(3)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> この授業では、初級コースを終えた学生を対象にしている。ネイティブが担当するので、生きた会話を授業の軸足とし、90分間を積極的に質疑応答時間として構成する。</p> <p>目標は、ロシア語のジョークに用いられる運動の動詞と慣用句を覚えて、それらを会話に生かすこと。</p> <p><b>授業内容</b> 「会話に生きる文法」を副題にして、ロシアの文化に欠かせないロシア語のジョークを習う。特に、運動を表す動詞に力を入れる。具体的な流れは、以下のようになる。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
ロシア語 Level 2a	山 崎 タチアナ	金(3)	20	<p>1. ウォーミングアップとして、毎回日付や天気をロシア語で確かめる。</p> <p>2. ロシア語のジョークを読んで、単語と言いならわしなどを確認してから、そのジョークの内容についてやり取りを行う。</p> <p>15回分の授業詳細：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「類義語」のはなし</li> <li>2. 「能動的」と「受動的」</li> <li>3. 「時間がかかる」</li> <li>4. 「年数」と「年齢」</li> <li>5. 接頭辞が付く運動の動詞</li> <li>6. 「とある会場にて」</li> <li>7. 感嘆符を使う</li> <li>8. 「ロシア人の宇宙」</li> <li>9. 「有名人のはなし」</li> <li>10. 「行く」と「来る」</li> <li>11. 運動の動詞のことわざ</li> <li>12. 「運ぶ」と「連れていく」</li> <li>13. 「似合う」と「振る舞う」</li> <li>14. 運動の動詞の慣用句</li> <li>15. 後期のまとめ、定期試験</li> </ol> <p><b>成績評価方法</b> 評価の方法は、出席を重視すること、および試験期間内のマンツーマンの口頭試験の2つの基準から成る。</p> <p><b>教科書</b> プリントを配布します。</p>
中国語 Level 1b	加 納 光	水(2)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> 中国語 Level 1b は、中国語 Level 1a の継続であり、教科書も中国語 Level 1a で用いた教科書を引き続き使用する。中国語の普通話の発音の習得に重点を置きながら、初級中国語で求められる読解力、文章力、会話力等の総合的な基礎学力の養成を目指す。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> 院生及び教職員も受講の対象とする。中国語 Level 1a を継続するものである。</p> <p><b>授業内容</b> 中国語 Level 1b では、中国語 Level 1a で習得した 4 1 1 の音節の発音を確認しながら、中国語の初級段階で学ぶべき基礎的な文法事項を順次学習する。中国語のさまざまな文法項目の学習を通して、中国語の表現上のさまざまな特徴についての理解を深めてゆく。</p> <p>具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名詞述語文、構造助詞 ほか</li> <li>2. 結果補語、アスペクト助詞 ほか</li> <li>3. 婉曲表現、代動詞 ほか</li> <li>4. 動詞の重ね型、方向補語 ほか</li> <li>5. 所在表現、様態補語 ほか</li> <li>6. 比較表現、接続詞 ほか</li> <li>7. 不定代名詞、助動詞 ほか</li> <li>8. 疑問詞、主述述語文 ほか</li> <li>9. 前置詞、謙語文 ほか</li> <li>10. 概数表現、副詞のいろいろ ほか</li> <li>11. 複合方向補語 ほか</li> <li>12. まとめ・復習</li> </ol> <p><b>成績評価方法</b> 平常点 [出欠席、授業態度] (50%) と期末試験 (50%) による。</p> <p><b>教科書</b> 「ようこそ、中国語の世界へ」加納光・白木通・成戸浩嗣 (白帝社)</p> <p><b>参考書</b> 必要に応じ授業で紹介する。</p> <p><b>受講者へのメッセージ</b> 授業上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の予習・復習を欠かさずに、楽しく学んでください。</li> <li>・普段から中国語に親しむ習慣を持ってください。</li> </ul>
中国語 Level 2b	前 田 光 子	月(3)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> この授業は日本人講師による講読を中心とした授業であり、より高度な読解力の養成を目的とする。</p> <p>中国語の初級 (発音・文法事項等) をすでに習得した学生を対象とし、さらに高度な文法的知識を得、それを確実に身につけると同時に、現代中国に</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
中国語 Level 2b	前田光子	月(3)	20	<p>についての理解を深める。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> 中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること。中国語の初級（発音・文法事項等）を習得していること。</p> <p><b>授業内容</b> 中国語中級の読み物を中心としたテキストを用いる。以下のようなテーマについて書かれたテキスト本文を、これまでに習得した単語・文法事項、同時に発音を確認しながら正確に読解し、現代中国についての理解を深める。</p> <p>初回は、授業説明及び初級文法のポイントの復習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の平等</li> <li>2. 就職難</li> <li>3. 若者の結婚恋愛観の変化</li> <li>4. ローン奴隷</li> <li>5. 多くの個人投資家</li> <li>6. 都市の消費ブーム</li> <li>7. 考碗族</li> <li>8. 家政婦</li> <li>9. 民は食をもって天となす</li> <li>10. 「80後」と「子供を育てて老後に備える」</li> <li>11. 老後の危機</li> <li>12. 中国におけるボランティア活動</li> </ol> <p>原則として一回に一課をこなし、学び終えたものについては次回必ず復習を行なう。そうすることによってさらに高度な文法的知識やより多くの語彙を確実に身につけ、使えるものにしていく。</p> <p><b>成績評価方法</b> 平常点（出席・授業態度・課題など）：期末試験＝8：2</p> <p><b>教科書</b> 『変化する中国』孟広学・本間史（白水社）</p> <p><b>参考書</b> 必要に応じて授業時に指示する。</p> <p><b>注意事項</b> 履修希望者は第一回目の授業に必ず出席すること。（履修希望者多数の場合、選抜試験を行う可能性あり。） 毎回の復習をきちんとこなすなどの積極的授業態度を求める。 ※前期の授業との内容の関連性はありません。</p>
スペイン語 Level 1b	A. Villalobos	水(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> 前期に続き、スペイン語の基本的な文法を学び、一通りの文法の知識を得る。同時に、簡単な会話や日常的な表現を身につけるべく練習する。前期は、現在時制、及び、過去時制が中心であったが、これに現在完了、未来などの時制を加え、さらに広い範囲の出来事・事柄を表現できるようにする。接続法や命令法なども学び、スペイン語検定では6級、5級、4級くらいまで受験できる実力をつける。また、テキストに沿って、スペインやラテンアメリカの人々の暮らしぶり、文化、ものの考え方などを紹介し、スペイン語が話されている国々に対する学生の皆さんの興味を喚起する。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> 初級スペイン語の前半を終えるくらいまでの文法の知識を必要とする。</p> <p><b>授業内容</b> LECCION 8 「外国人コースの授業での会話」及び、点過去、前置詞。 LECCION 9 「キャンパスの中庭での会話」及び、点過去不規則動詞、疑問詞。 LECCION 10 「大学の喫茶店での会話」及び、線過去の活用と用法。 LECCION 11 「休暇あけのキャンパスでの会話」及び、天候表現、存在文、不定語・否定語。 LECCION 12 「街の喫茶店での会話」及び、現在分詞、曜日、手紙の書き方、メール。 LECCION 13 Te he buscado por todas partes. 過去分詞、現在完了形、関係代名詞、建物の呼称。 LECCION 14 Fue escrito por Soseki. 受動態、再帰動詞、身体の部位の呼称、職業に関する用語。</p> <p>この授業では過去時制の用法を中心に扱う。時間があれば、未来時制、命令形、接続法などに触れる。</p> <p><b>成績評価方法</b> 出席（10%）課題（15%）試験（75%）</p> <p><b>教科書</b> Espanol vivo 朝日出版社 福島教隆</p> <p><b>参考書</b> 辞書 現代スペイン語辞典 白水社</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
スペイン語 Level 1b	A. Villalobos	水(4)	20	<p><b>注意事項</b> 辞書に関しては、上記のものに限りません。目的、これからの学習の方向に従い、個人が使い易いものを選んでください。より安価な小事典でも、電子辞書でもかまいません。</p> <p><b>受講者へのメッセージ</b> *学生の皆さんには、授業にしっかりと出席し、積極的に学習に取り組む姿勢を期待する。</p> <p>語学の授業であるため、他の学生との会話のやりとりなども、実践的な力をつけるためには効果を発揮するからである。社会に出てから新たに新しい言語の習得を目指すには、時間的にも経済的な面でも余裕がなければならない。学生時代に、できるだけ多くの言葉の学習に取り組むことは、将来のために大変に有益であることは間違いない。</p> <p>地球には多くの種類の言葉が存在する。そのことは、メキシコの新進気鋭の映画監督アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥの作品『バベル』の中に見られるように、人々の間に誤解や軋轢、また不幸な場合には暴力的な衝突をも生むことになる。知恵を持つ人間は、言葉を駆使し、豊かに感情を表現し、なんとしても、そうした軋轢や衝突を避けなくてはならない。言葉を間違いなく、正確に、そして思いを込めて使うことが、国と国、人と人の間の柔軟で、ざらつきの無い関係を築く上で重要な役割を果たすのである。まず、母国語を大切に美しく用い、表現を磨くよう、努めることである。その上で、さらに、他の言語を学び、実際にその国の人々とコミュニケーションをとり、その国の文学作品や歌、映画に触れる。それは、自身の世界を広め、豊かにするだけでなく、グローバル化する世界の積極的な一員となることを可能にするのである。</p> <p>多くの言葉の存在は、世界を複雑化し、人々の間に溝を作る一方で、この世界に多様な様相を与えるものである。言葉によって、それを話す人々の表情、ものの考え方、生活の仕方までも変わる。歌の旋律さえも異なる。それは、この世界の豊かさの表れでもある。他の言語を学ぶことが、彼らの考え方、生き方を知る第一歩となり、世界の多様性に触れる助けとなることは間違いない。</p>
スペイン語 Level 2b	西村 秀人	木(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b></p> <p>本授業の目的は、これまで学習してきたスペインの基礎文法を踏まえた上で、それらをさらに発展させ、実践的で総合的なスペイン語の理解を深めることにある。具体的にはラテンアメリカに関するさまざまなタイプの文章を読み解くことで、これまで学習してきた文法事項も確認しつつ、より具体的なスペイン語の運用を目指す。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b></p> <p>第Ⅰ・Ⅱ期スペイン語1・2・3・4またはスペイン語Level 1a・bを受講している、もしくは、それと同等の基礎知識を有すること。</p> <p><b>授業内容</b> 原則として受講者の希望・レベルによって授業内容は調整するが、基本的にはスペイン語で書かれたさまざまなタイプの文章を購読していくことに重点を置いていきたい。</p> <p>この授業で扱うのは、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ラテンアメリカ諸地域を扱った新聞記事</li> <li>(2) ラテンアメリカ各地域の食文化・音楽・社会問題などに関する短めの文章</li> <li>(3) ラテンアメリカのジョーク</li> <li>(4) スペイン語テレビ放送のヒアリング・それに関連する作文等である。</li> </ol> <p>またラテンアメリカの音楽CD・テレビ・ラジオ番組を使ったヒアリングも随時行っていく。さらに購読した内容を踏まえた上で自分の意見を作文する、あるいはその内容に関する質問に自由に答えるといった実践的な訓練も可能な限り行っていきたいと考える。</p> <p>文章の購読に際しては適宜文法的解説も含め、これまで学んできた基礎文法のより完全な理解を目指したい。また文法的な問題だけではなく、さまざまなタイプの文章を読解していくことによって、読解のスピードを上げるのに必要な「スペイン語に対する勘」を育てていきたい。</p> <p><b>成績評価方法</b> 出席状況、授業への積極的な参加、レポート、定期試験の結果を総合的に評価する。</p> <p><b>教科書</b> 随時プリント等を配布する。</p> <p><b>参考書</b> 新聞、WEBページなど授業時に随時紹介する。</p> <p><b>注意事項</b> 履修条件と授業内容を十分に理解した上で登録すること。</p> <p><b>受講者へのメッセージ</b> ラテンアメリカのスペイン語</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
スペイン語 Level 2b	西村 秀人	木(4)	20	<p>ブラジルとカリブ海の一部の地域を除けば、ラテンアメリカの公用語はスペイン語である。しかし現在日本で出版されているスペイン語学習用テキストの大半はスペインのスペイン語を基礎とし、例文などに取り上げられるテーマもスペインの話題が多い。私自身が大学でスペイン語を学習した際もテキストはもちろん、ネイティブの教師は全員スペイン人だった。スペイン語はきわめて広い地域で使用されている割には、その地域差は少ない方だと言われているが、それでもスペインのスペイン語をベースに学習した私が初めてアルゼンチンに行った時にはさまざまな違いに気がついたものだ。</p> <p>ここでいう「違い」にはさまざまなタイプのものである。たとえば語彙の違いという観点では、スペインやメキシコでは「地下鉄」を metro というが、アルゼンチンでは subte というケースが挙げられる。あるいはスペインのスペイン語をベースとする教科書に出ていた「おはよう」は Buenos días だったが、私が実際アルゼンチンで聞いたのは単数形の Buen día の方が多かった、というようなこともある。話す時の抑揚にも大きな違いを感じた。イタリア移民が多いせいか、アルゼンチンのスペイン語はイタリア語に近い抑揚を持っているのだと聞いた。また地域だけで通じる俗語というものもある。下品な語も少なくないので外国人は下手に使うことが出来ないが、語学を学ぶものにとって興味深いテーマである。もう一つ私がアルゼンチンで興味を抱いたのは下町出身の人たちがよく使う逆さ言葉だった。「タンゴ」 tango を gotan、「友だち」 amigo を gomia、「赤ワイン」 vino tinto を novi totin といった具合である。これらの言葉のことを vesre というのだと教えられたが、後でよく考えてみると実はこの言葉、「逆」 revés という単語の逆さ言葉だった。</p> <p>このような俗語まで授業で詳細に取りあげるわけにはいかないが、ひとくちに「スペイン語」といっても、それを使う人の生活や文化によって常に変化を遂げているのである。さまざまな地域のスペイン語を購読することで、その広がりをぜひ実感してほしい。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	金 元 榮	金(3)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b>      新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。</p> <p>バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景の知識を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」である。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b>      朝鮮・韓国語 Level 1a からの継続であるが、相応の準備があれば後期からでも受講可。</p> <p><b>授業内容</b> この授業では次のような能力を養成する。      書記法・発音…ハングルで書かれた文章を確実に読めるようにし、簡単な文章をハングルで正しく書けるようにする。      文 法…基礎的文法を学習する。      日本語話者にとって韓国語の文法事項のうち最も重要なものは用言の活用であるので、この点に重点を置いて学習する。      学習する主な文法事項は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語基の作り方と使い方</li> <li>・不規則活用</li> <li>・機能別の文種（命令文・禁止文・勧誘文・感嘆文）</li> <li>・可能否定文</li> <li>・過去形</li> <li>・進行形</li> <li>・可能文</li> <li>・願望形</li> <li>・緩叙形</li> <li>・連体形</li> <li>・基本的な接続表現（「～して」「～するが」「～すれば」「～するので」「～しながら」などに相当するもの）</li> <li>・文体（くだけた丁寧体）</li> <li>・話し言葉の特徴</li> </ul> <p>口頭表現力…上の文法事項を含む文章を使って簡単な会話ができるようにす</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	金 元 榮	金(3)	20	<p>る。</p> <p><b>成績評価方法</b> 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験の成績が総合成績に占める割合は6割程度とする。</p> <p><b>教科書</b> 朝鮮・韓国語 Level 1a で用いた教材と同じ。</p> <p><b>参考書</b> 必要なものは授業中に指示する。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	崔 昇 浩	金(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b>  朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。  また、言語文化Iあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b>  言語文化 I あるいは朝鮮・韓国語 Level 1 を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p><b>授業内容</b> この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文Iの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現をえるようにする。  学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合により項目の 出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己紹介…他人に自分を紹介するための基本的な表現形式を学習する。</li> <li>2) 紹介…他人を紹介するための様々な表現形式を学ぶ。</li> <li>3) 出会いと別れ…様々な出会いと別れの場面に用いられる表現を学習する。</li> <li>4) 約束…人と何かを約束するとき用いる表現を学習する。</li> <li>5) 道聞き…人に道を尋ねるときに使われる代表的な表現形式を学ぶ。</li> <li>6) 電話…電話での対話の基本形式に習熟する。</li> <li>7) 宿泊…宿泊の予約や宿泊施設内での対話に用いられる表現を学習する。</li> <li>8) 病院で…診療の際の医師との対話に必要な表現を学習する。</li> <li>9) 食堂で…食堂で料理を注文するなど従業員との対話に使われる表現を学習する。</li> <li>10) ノレバンで…カラオケに行き歌を楽しむ時の対話を学習する。これについては、受講者の希望があれば実際にカラオケで行うかも知れない。</li> </ol> <p><b>成績評価方法</b> 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。期末試験は韓国語による面接試験とし、その評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p><b>教科書</b> プリント教材。</p> <p><b>参考書</b> 必要な物は授業中に指示する。</p> <p><b>注意事項</b> 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	木(5)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b>  朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する授業である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b>  言語文化 I あるいは朝鮮・韓国語 Level 1 の履修者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくてもかまわない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p><b>授業内容</b> この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文 I の学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
朝鮮・韓国語 Level 2b	鄭 芝淑	木(5)	20	<p>を使えるようにする。</p> <p>学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合により項目の出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疑問…知りたいことを相手に尋ね、またそれに答えるための種々の表現形式を学習する。疑問形式は対話において最も重要な役割を果たし、ヴァリエーションも最も豊富であるので、特に重点を置いて練習する。</li> <li>2) 否定…陳述を打ち消すための表現形式を学習する。</li> <li>3) 感嘆…感情を込めて表現するための形式を学習する。</li> <li>4) 依頼・指示・禁止…相手に何かをさせよう、あるいはほしくないようにするための表現形式を学習する。</li> <li>5) 願望…自分がやりたいことを相手に伝える、あるいは相手の願望を尋ねるための表現を学ぶ。</li> <li>6) 勧誘・提案…相手と共同して何かをしようというときに用いる表現を学習する。</li> <li>7) 意志・予定…意志や予定を表す種々の表現に習熟する。</li> <li>8) 推量・推測…出来事を推し量るときの表現形式を学習する。</li> <li>9) 引用・伝聞…他人の言説を別の人に伝えるときの表現形式を学ぶ。</li> <li>10) 可能・不可能…能力の有無、許可のあるなしを表す表現を学習する。</li> </ol> <p><b>成績評価方法</b> 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験は韓国語による面接試験とし、その総合評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p><b>教科書</b> プリント教材。</p> <p><b>参考書</b> 必要な物は授業で指示する。</p> <p><b>注意事項</b> 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
ラテン語 Level 1b	有川貫太郎	木(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b></p> <p>前期に引き続き、「ケンブリッジ・ラテンコース」を読み進め、ラテン語の初級レベルから中級に進むことをめざします。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b></p> <p>自由に参加してください。ただし参加した以上は休まないことが大切です。以前トライしたことのある人なら後期からでも不可能ではないでしょう。</p> <p><b>授業内容</b> ユニット1の後半ではポンペイの市民の日常のうち、娯楽(劇場、剣闘士の試合)、公衆浴場、政治と選挙などが扱われ、最後の章ではヴェスヴィオス山の噴火に至ります。</p> <p>文法では名詞代名詞の格の用法の詳細を学び、動詞も過去形が登場し、文章がかなり複雑になってきます。</p> <p><b>成績評価方法</b> 出席と期末試験によって総合的に評価します。</p> <p><b>参考書</b> CAMBRIDGE LATIN COURSE. UNIT I (North American Edition)</p> <p><b>参考書</b> 授業で紹介します。またインターネットでもラテン語学習に役立つサイトがあります。探索してみましょう。</p> <p><b>注意事項</b> 教科書は、原則として各自ネットで入手してください。方法については授業で紹介します。</p>
古典ギリシア語 Level 1b	有川貫太郎	水(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b></p> <p>前期に引き続き、「リーディング・グreek」を読み進め、古典ギリシア語の基礎を学びます。ギリシア語の学習は文系、理系を問わず西欧の学問の源流を知る上で有用なものになることでしょう。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b></p> <p>興味のある人は自由に参加してください。ただし始めたら休まないことが大切です。</p> <p><b>授業内容</b> ペロポネソス戦争下のアテネ、その後ソクラテスが活動した時代を背景に、当時の社会のさまざまな面が紹介されていきます。亡命者、女性の人生、訴訟等々。アリストパネスの「雲」を題材にアレンジした章ではソクラテスも登場し、とくに興味をおぼえることでしょう。</p> <p>文法としては、分詞の変化、動詞の未来、過去(アオリスト)、不定詞などを学んでいきます。</p> <p>前期同様、朗読CD教材も活用してテキストを音読する練習も重視します。</p> <p><b>成績評価方法</b> 平常点(出席、提出課題など)と期末テストによって総合的に評価します。</p> <p><b>教科書</b> Reading Greek. Text and Vocabulary (second edition) (Joint</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
古 典 ギリシア語 Level 1b	有川貫太郎	水(4)	20	Association of Classic al Teacher's Greek Course) 参考書 授業で紹介します。 注意事項 教材は原則として各自ネットで購入してください。方法については、授業で紹介します。必ず second edition を購入すること。
アイヌ語 Level 1	小坂光一	月(2)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> アイヌ語は日本国内の言語ではあるが、ここでは「母語以外の言語」という意味で、便宜上「外国語」扱いをしている、と理解していただきたい。 日本は単民族国家だ、とか、日本には日本語しかない、といった観念を捨てること、いろいろな言語に触れることが授業の目的である。日本にも日本語以外の言語があることを再認識する。</p> <p><b>履修条件・関連する科目等</b> もっぱら口頭練習をするので、毎回授業に参加できることが履修の条件となる。</p> <p><b>授業内容</b> 01. アイヌ語を日常語として使用している人はいない。アイヌ語を話せる人はいるが、彼らも日常においてアイヌ語を使ってはいない。これは社会的な問題も原因している。従って、アイヌ語は消え行く運命にあるのかもしれない。しかし、私はこの言語を滅亡させたくはない。それが避けられないならばせめて消滅の時期を遅らせたい。この授業はそういう気持を込めて開講されている。 02. アイヌ語は構造的に日本語と似ている面がある。一方朝鮮・韓国語に似ている面もある。そういう意味で言語学的には非常に面白い言語である。また、書き言葉を持たなかったアイヌ語から学ぶべき点多々ある。 03. この授業ではアイヌ語会話入門とでも言うべき授業をしたい。しかし、担当者(小坂)自身、アイヌ語の専門家ではないので、むしろ受講者の方々と共に勉強したいと思っている。 04. アイヌ語会話と言っても、会話の機会・相手を見つけることは至難の技であるから、アイヌ語を学んでも、言語学を専門とする人以外、実用にはならないだろう。しかし、実用を目的としない言語学習や「外国語」以外の未知言語の学習もあっていいのではないだろうか。 05. 授業ではアイヌ語を概観しながら、もっぱら口頭練習をする。 06. 授業での積極性、授業への貢献度、学習成果により成績評価する。</p> <p><b>成績評価方法</b> 授業に対する平常の貢献度(30%)、授業中の積極性(40%)、普段の口頭表現のできばえ(30%)。ただ参加するだけでなく、積極的に練習していただきたい。</p> <p><b>教科書</b> 『CDエクспレス アイヌ語』(白水社)及びプリント教材 <b>参考書</b> 田村すず子: 沙流方言アイヌ語辞典(草風館) 中川 裕: 千歳方言アイヌ語辞典(草風館) 萱野 茂: 萱野茂のアイヌ語辞典(三省堂)(いずれも高価。授業のためには不要)</p> <p><b>注意事項</b> 授業に來たり來なかつたりする人、ただ出席して聞いているだけの人は絶対にお断りします。 <b>受講者へのメッセージ</b> 実用を目的としない言語学習になりますが、大いに勉強してください。</p>
イタリア語 Level 1b	A. Sciucca	水(4)	20	<p><b>本講義の目的およびねらい</b> 旅行、留学などでイタリア滞在を考える学生に基本的な会話表現を習得してもらうとともに、イタリア理解の入り口を提供することをねらいとする。具体的には、空港、ホテル、買物などの場所において自分の要求を伝えるのに必要な表現を自在に使い、それに対して予測される返答を確実に理解することをはじめ、最終的には、様々な場面におけるイタリア人の思考・行動の特性を感じ取るための言語的な基盤を作ることを目指す。</p> <p><b>授業内容</b> 1. イタリア語 Level 1a の復習 2. 補語代名詞と過去分詞 3. 指示形容詞 4. 命令形 (essere / avere 動詞) 5. 命令形 (規則動詞・再起動詞) と否定命令 6. 半過去 (essere / avere 動詞) 7. 半過去 (規則動詞)</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
イタリア語 Level 1b	A. Sciucca	水(4)	20	<p>8. 近過去と半過去の相違、所有形容詞  9. 単純未来 (essere / avere 動詞)  10. 単純未来 (規則動詞・不規則動詞)  11. 現在進行形 (ジェルンディオ)</p> <p>* 随時、映画やTV番組の中から会話を抜粋し、生きたイタリア語表現に触れるとともに、イタリア人の価値観や志向、行動様式などについて考える機会を与える。</p> <p>* 中間期にミニテストを実施する。</p> <p><b>成績評価方法</b> 期末テスト60%、中間ミニテスト20%、出席状況・履修態度20%</p> <p><b>教科書</b> Loredana Chiappini &amp; Nuccia De Filippo "Un giorno in Italia" vol.1 (L'italiano per stranieri: Bonacci editore)</p> <p><b>参考書</b> 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p><b>注意事項</b> イタリアは深い歴史と文化を持った国です。表層的なイタリア理解に終わらぬためにも、熱意を持って授業に取り組んで下さい。</p>